

田無神社 龍神池 調査・管理報告書

活動日	2019年5月31日	天候	曇り	活動時間	12:30～15:30
作業者	久保田 潤一			報告者	久保田 潤一
目的	生物調査 および ビオトープ管理				
内容					
【作業内容】 <ul style="list-style-type: none">・龍神池の写真撮影・パックテストによる水質調査・生物調査・外来種の駆除・水浄化フィルターの清掃					
【水質調査について】 <ul style="list-style-type: none">・COD、リン酸態リン、亜硝酸態窒素を測定した。・CODの値は7～8であった。これは国民の日常生活において不快感を生じない限度とされる値をほぼ同じである。それほどきれいではないが、問題はない値といえる。・リン酸態リンは、0.02～0.05で、比較的きれいな水の値であった。・亜硝酸態窒素は0.005以下と非常に低く、きれいな水の値であった。					
【生物調査の詳細】 <ul style="list-style-type: none">・ビオトープ創出時に導入した生物も含め、生息・生育状況の調査を実施。ただし植物については水草のみに限定した。・導入された水草は、コナギ以外を確認することができた。浮島は壊れてしまったのか無くなっており、上に載っていたミゾソバが池内の複数箇所に根付いていた。・ミナミメダカは確認できなかったが、10頭導入したうちの2個体が生き残っているとのこと。調査後日、繁殖していたとの報告が田無神社より受けた。・コセアカアメンボの交尾および幼虫を確認し、繁殖していることがわかった。・外来種のカサマキガイを多数確認。繁殖していた。府中市の水田から非意図的に導入されたものであると考えられる。駆除できなくもないが、根絶は難しい。特に大きな害もないと考えられるため、当面は様子を見る。・ニホンミツバチが滝で水を飲んでいるのを確認した。・外来植物のオオカナダモを2株確認した。ビオトープ完成後に、誰かが持ち込んだ可能性がある。調査後に駆除を行った。・オオカナダモを駆除した際、植物体の中に隠れていたハグロトンボの幼虫を確認した。野川から水草を持ち込んだ際に付着していた可能性が高い。					
【その他】 <ul style="list-style-type: none">・ビオトープの日当たりは悪くない。近々、イチヨウの枝を落とすとのことで、水草が生育する照度は維持できるものと思われる。・水浄化フィルターの濾過材を洗浄した。伊藤工務店より、年に1回程度で十分だろうとの助言を受けた。浄化フィルターをケースごと池の外に出すには、給水管と排水管を外す必要がある。どちらもねじ込み式で固定されているとのこと。・生物調査の際、調査員は池の中に踏み込まないほうがよい。泥が舞って生物の観察が難しくなるため。タモ網で池の外から掬いどりするのがよい。					



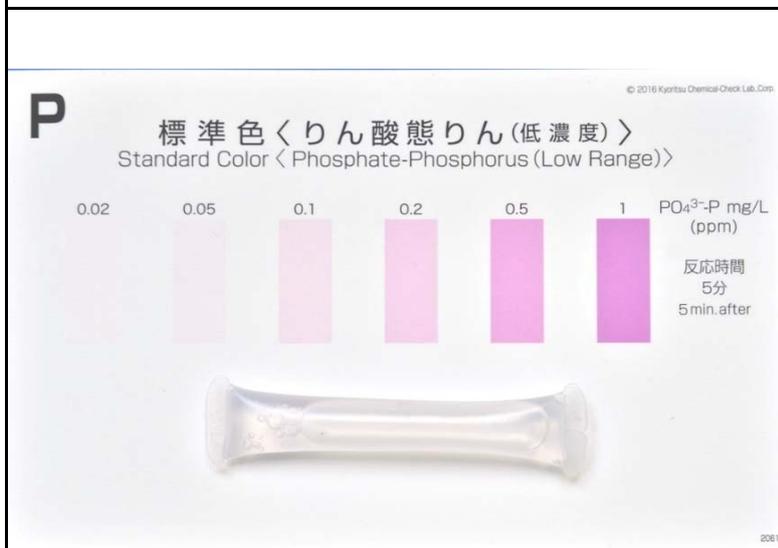
No. 1

撮影日: 2019/5/31

撮影場所: 田無神社 龍神池

解説

CODの測定結果。値は7~8であった。これは国民の日常生活において不快感を生じない限度とされる値をほぼ同じである。それほどきれいではないが、問題はない値といえる。



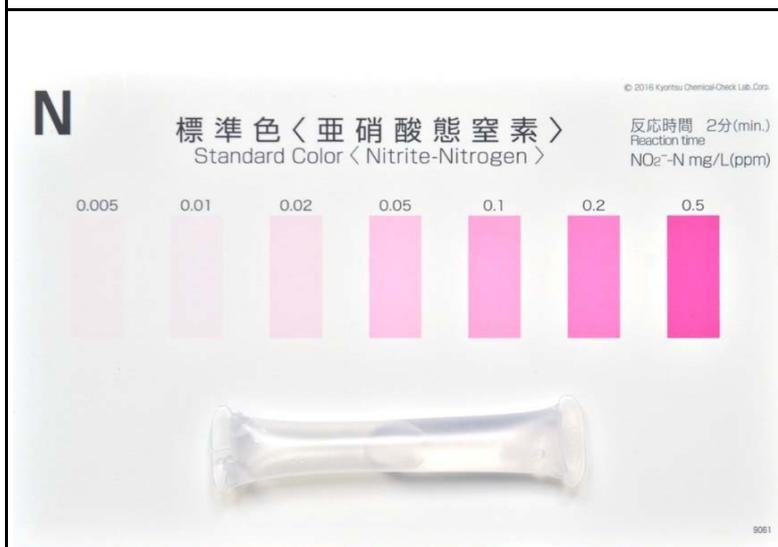
No. 2

撮影日: 2019/5/31

撮影場所: 田無神社 龍神池

解説

りん酸態リンの測定結果。値は0.02~0.05で、比較的きれいな水の値であった。



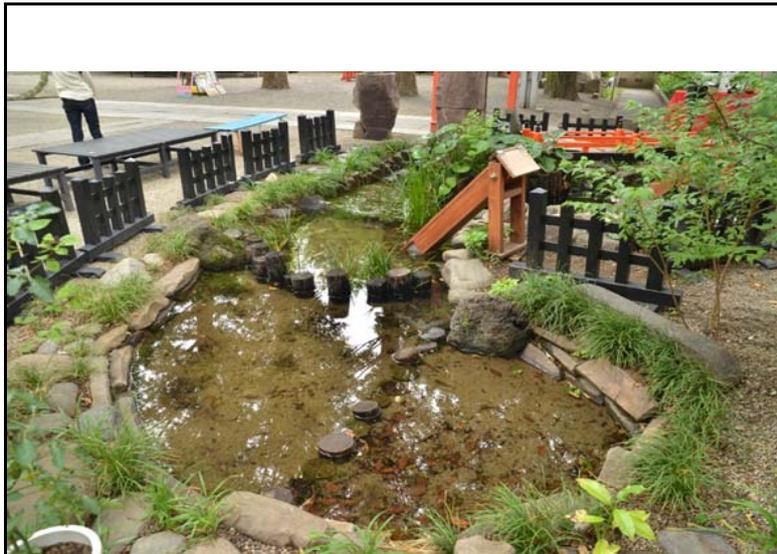
No. 3

撮影日: 2019/5/31

撮影場所: 田無神社 龍神池

解説

亜硝酸態窒素の測定結果。値は0.005以下と非常に低く、きれいな水の値であった。



No. 4

撮影日: 2019/5/31

撮影場所: 田無神社 龍神池

解説

水の透明度は高い。



No. 5

撮影日: 2019/5/31

撮影場所: 田無神社 龍神池

解説

生物調査の様子。



No. 6

撮影日: 2019/5/31

撮影場所: 田無神社 龍神池

解説

コセアカアメンボの成虫、雌雄。

	<p>No. <u>7</u></p> <p>撮影日: 2019/5/31</p> <p>撮影場所: 田無神社 龍神池</p> <p>解説 コセアカアメンボの幼虫。</p>
	<p>No. <u>8</u></p> <p>撮影日: 2019/5/31</p> <p>撮影場所: 田無神社 龍神池</p> <p>解説 導入したヒメタニシ。</p>
	<p>No. <u>9</u></p> <p>撮影日: 2019/5/31</p> <p>撮影場所: 田無神社 龍神池</p> <p>解説 ・外来種のサカマキガイを多数確認。繁殖していた。府中市の水田から非意図的に導入されたものと考えられる。</p>

	<p>No. 10</p> <p>撮影日: 2019/5/31</p> <p>撮影場所: 田無神社 龍神池</p> <p>解説 植物体の中に隠れていたハグロトンボの幼虫。野川から水草を持ち込んだ際に付着していた可能性が高い。</p>
	<p>No. 11</p> <p>撮影日: 2019/5/31</p> <p>撮影場所: 田無神社 龍神池</p> <p>解説 滝に水を飲みに来たニホンミツバチ。</p>
	<p>No. 12</p> <p>撮影日: 2019/5/31</p> <p>撮影場所: 田無神社 龍神池</p> <p>解説 外来植物のオオカナダモを2株確認した。ビオトープ完成後に、誰かが持ち込んだ可能性がある。</p>



No. 13

撮影日: 2019/5/31

撮影場所: 田無神社 龍神池

解説

駆除したオオカナダモ。



No. 14

撮影日: 2019/5/31

撮影場所: 田無神社 龍神池

解説

水浄化フィルターの濾過材の洗浄作業。



No. 15

撮影日: 2019/5/31

撮影場所: 田無神社 龍神池

解説

龍神池の全景(調査後)。

田無神社 竜神池 確認生物リスト

分類	種名	レア度 ※別表1	経緯 ※別表2	希少性 ※別表3		外来種	備考	確認記録 ※注		
				環境省	東京都 北多摩			2019/ 5/31	2019/ 夏期	2019/ 秋期
魚類	ミナミメダカ	SR	導入	VU	CR+EN		調査後に神社が繁殖を確認	△		
貝類	ヒメタニシ	A	導入					○		
	イシマキガイ	A	非意図的導入					○		
	サカマキガイ	外	非意図的導入			○	繁殖を確認	○		
昆虫類	コセアカアメンボ	A	自然飛来				繁殖を確認	○		
	ナミテントウ	B	自然飛来					○		
	ニホンミツバチ	A	自然飛来					○		
	ハグロトンボ	A	非意図的導入				野川で採取した水草に幼虫が付着していた可能性が高い	○		
	ヒトスジシマカ	B	自然飛来				ポウフラ	○		
植物	タマガヤツリ	A	導入					○		
	セキショウ	A	導入					○		
	コナギ	A	導入							
	ヒルムシロ属の一種	SR or R	導入				イトモあるいはツツイトモの可能性が高い	○		
	ウキヤガラ	R	導入		NT			○		
	ミゾソバ	A	導入					○		
	オオカナダモ	外	遺棄・放流			○	重点対策外来種	○		

※確認記録

○: 調査で確認

△: 聞き取り等で確認

別表1 レア度について

カテゴリ	表記	基準	一例
スーパーレア	SR	環境省または東京都のレッドリストVU以上	オオタカ、フクロウ、ニホンカナヘビ
レア	R	環境省または東京都のレッドリストNT、DD、留意種など	アオゲラ、ウグイス、クロカナブン
良	A	武蔵野台地らしさ。雑木林や用水、田畑、湿地等に特化して生息するもの。レアではないがいてほしい生きもの。	ヒメタニシ、アオモンイトトンボ、カブトムシ、アズマヒキガエル
普通	B	普通種。都市や道ばたなどでも見られる生きもの。	オンブバッタ、キタキチョウ、ヒトスジシマカ、スズメ、ハクセキレイ
外来種	外	外来種	ガビチョウ、アメリカザリガニ、アカボシゴマダラ

別表2 経緯について

導入	ビオトープの質の向上等を目的に、意図的に導入した生物
非意図的導入	土や水草などの移植に伴い、意図せずに入ってきた生物
自然飛来	ビオトープ創出後に周辺から自力で移動してきた生物
遺棄・放流	飼育されていたペットや園芸種などが捨てられたり、放流されたりしたもの

別表3 希少性の表記について

表記	カテゴリ名称	基本概念
EX	絶滅	当該地域において、過去に生育・生息していたことが確認されており、飼育・栽培下も含めすでに絶滅したと考えられるもの
CR	絶滅危惧IA類	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
EN	絶滅危惧IB類	IA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
CR+EN	絶滅危惧I類	現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの
VU	絶滅危惧II類	現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧I類」のランクに移行することが確実と考えられるもの
NT	準絶滅危惧	現時点での絶滅危険性は小さいが、生育・生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの
DD	情報不足	環境条件の変化によって、容易に絶滅危惧のカテゴリに移行し得る属性を有しているが、生育・生息状況をはじめとして、ランクを判定するに足る情報が得られていないもの
.	非分布	生態的、地史的な理由から、もともと当該地域には分布しないと考えられるもの